

# 農家の皆さん（号外）

～水稲の出穂予測と今後の水管理等（少雨・渇水対策）について～

花巻農業協同組合  
中部農業改良普及センター

- 県内の水稲は、**平年より3日早く**出穂期を迎える見込みです。
- 高温による品質低下を防ぐため、**かんがい水の状況に応じた水管理**を徹底しましょう。

## 1 水稲の出穂予測

県内の水稲の生育は平年より1日早く進んでいます。今後も**気温がかなり高くなる**予報のため、**平年より3日早い**7月29日頃に出穂期を迎える見込みです(表1)。

表1 水稲の生育ステージと出穂予測（生育診断ほ：岩手県各農業改良普及センター調べ）

地帯・品種	出穂期(平年±0℃)			出穂期(平年±4℃)			【参考】 R6出穂期 (月/日)
	本年 (月/日)	平年 (月/日)	平年差 (日)	本年 (月/日)	平年 (月/日)	平年差 (日)	
北上川下流	7/29	8/1	-3	7/28	8/1	-4	7/30
東部	7/30	7/31	-1	7/29	7/31	-2	7/29
ひとめぼれ	7/31	8/2	-2	7/30	8/2	-3	7/30
あきたこまち	7/29	8/1	-2	7/28	8/1	-4	8/2
銀河のしずく	7/27	7/31	-4	7/26	7/31	-5	7/29

- 1) 出穂期は、発育指数（DVI）による出穂予測式による推定値。
- 2) 使用データ…各アメダス地点の日平均気温（7月20日までの現況値及び7月21日以降の平年値）。

## 2 今後の水稻の水管理（少雨・渇水対策）について

### (1) 出穂・開花期の水管理

- ・この時期の水稻は大量の水を必要とするため、**浅水での湛水管理**を基本とします。
- ・暗きょや排水口を閉じ、**田面が露出しないように**管理しましょう。

### (2) 登熟期の水管理

#### ア 十分なかんがい水を確保できない場合

- ・取水制限などによりかんがい水が不足する場合は、**間断かんがい**を実施せず、**土壌を常に湿潤状態（足跡に水が少したまる程度の状態）に保つ管理**を行いましょう（写真1）。
- ・土壌の乾燥は品質低下につながるため、実施には十分に注意してください。



写真1 土壌の湿潤状態

#### イ かんがい水を十分に確保できる場合

- 間断かんがいを基本とし、水のこまめな入れ替えや、**夜間入水**を行ってください。

### 【管理の目安】

湛水：2～3日（水深は3cm程度まで）

落水：1～2日（水たまりが消え、湿り気を目や手で触れて確認できる程度まで）

限りある用水を有効に活用するため、かけ流しかんがいの実施は控えましょう。

## 3 その他（大豆の干ばつ時の対策について）

開花期以降は大豆の要水量が多くなります。ほ場がしばらく乾燥している場合は、**畝間灌水**を実施します。

### (1) かん水実施の目安

- ・晴天が1週間以上続き、土が白く乾燥している。
- ・日中に葉が立ち、半分以上の葉で裏面が見られる。

### (2) 実施出来る条件

- ・水回りが良好であること（培土などで畝間があること、圃場の隅に水が溜らないこと等）
- ・漏水が小さいこと
- ・排水溝が設置されていること

### (3) 具体的な方法

- ① 朝夕の涼しい時間帯に、水をほ場へ入れる。  
（水回りの状況を確認、暗渠は閉じる）
- ② 畝間に水が行き渡ったら速やかに排水する。（滞水すると湿害が発生します。）
- ③ 区画が大きい場合は、数日に分けて徐々にかん水を行う。



水利等から畝間灌水の実施が困難な地域・ほ場では、**乾燥ストレスが生じる前に暗渠を閉じる**ことが有効です。